

9-12
芸術

西洋美術史概論 A



会場

多摩美術大学

地図番号 8 ※ P85 参照

提供

多摩美術大学

曜日・回数

火曜日 15回

時間

13:00～14:30

受講料

11,000円

定員

5名

実施日

9月 5日 12日 19日 26日

10月 3日 10日 17日 24日

31日

11月 14日 21日 28日

12月 5日 12日

1月 9日

備考

【授業のねらい】

大まかな時代背景と美術の特徴について解説する。概論というと表面的な内容に陥りやすく印象も薄くなりがちなので、何人かの画家について多少詳しく論じる予定である。この授業を受講した学生は、初めての作品を見たときに、どの時代のどの国のものかおおよその見当がつくようになるはずである。

時代背景との関係や様式の特徴を捉えるのは大前提であるが、知らなかった画家や作品に出会うことの喜びを味わい、また自分の研究におけるヒントや美術に対するさらに深い興味を持ってもらえればと思う。

【授業計画】

- 第1週 フランス・ロマン主義（ジェリコー、ドラクロワ）
- 第2週 ドイツ・ロマン主義（フリードリヒ、ルンゲ）
- 第3週 イギリス・ロマン主義（ターナー、コンスタブル）
- 第4週 バルビゾン派（ルソー、ドービニー、コロ、ミレー他）
- 第5週 印象派（モネ、ルノワール、ピサロ、シスレー、ドガ）

- 第6週 印象派（モネ、ルノワール、ピサロ、シスレー、ドガ）
- 第7週 新印象主義（スーラ、シニャック他）
- 第8週 ゴッホ
- 第9週 ゴッホ
- 第10週 フォーヴィスム
- 第11週 キュビズム
- 第12週 キュビズム
- 第13週 シュルレアリスム
- 第14週 シュルレアリスム
- 第15週 まとめ

【履修上の注意事項】

当然のことであるが、授業に出席し、強い好奇心を持って話を聞き、スライドを見、ノートを取ることが大切である。参考文献を挙げてあるので、特に興味を覚えたこと、あるいは聞き逃してしまったことを、授業の後に読んで調べることも積極的に行って欲しい。質問があれば遠慮なくして欲しい。



【講師】中村 隆夫（なかむら たかお）美術学部 共通教育 教授

上智大学文学部卒／慶應義塾大学大学院美術史修士課程修了／著訳書「ピカソの世紀」「続 ピカソの世紀」「絵画の向こう側」（NHK 番組「こころを読む」テキスト）「絵画の見方・オルセー美術館」、「象徴主義—モダニズムへの警鐘」、「キュビズム」等／展覧会監修「印象派と近代ヨーロッパ絵画展」、「フェルナン・レジェ」展、「ラウル・デュフィ展 海と音楽—そしてパリ」他／東京新聞展評担当。